

一八九〇―一九二〇年の山梨県経済

島袋善弘

はじめに

一九二〇―三〇年代の日本経済を地域類型で考えると、先進地として近畿型、後進地として東北型が設定される。山梨県は両者の中間的な地域として一九二〇―三〇年代に最盛期を迎えたと考えてよいが、中間的な特徴と同時に、長野県・群馬県と並ぶ養蚕製糸地帯として著しい特徴をもつ。本稿はこのような最盛期の山梨県の経済がどのように形成されてきたかを明治中期までさかのぼって数量的・統計的に明らかにすることを目的とする。

なおこの時期の山梨県の経済・社会構造を扱った論考として『県政百年史』『山梨県蚕糸業概史』等があるが、課題設定や刊行時の時代的制約のため、地域経済についての数量的・統計的な検討はきわめて不十分である。

一 工業生産

養蚕製糸地帯としての地域的特徴の形成期であるこの時期の産業の主導部門は工業、とりわけ製糸業である。したがってここでは製糸業を中心として工業生産の展開状況から検討をはじめよう。

まず統計的な考察が可能となり始める時期の工業生産について、『長期経済統計13 地域経済統計』をみよう。表1は、一八八九・九〇・九一年の工業生産構成を示したものである。この表には「製材及木製品」の項目

表1 1889・1890・1891年の工業生産額構成（推計）

	1889 年		1890 年		1891 年	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
食 料 品	777,673	19.0	807,697	20.2	776,479	17.3
うち 飲料	583,432	14.2	622,760	15.6	607,592	13.5
煙 草	131,491	3.2	127,244	3.2	120,914	2.7
繊維及繊維製品	2,967,562	72.4	2,660,523	66.6	3,384,830	75.3
うち 糸類	2,122,577	51.8	1,886,110	47.2	2,385,181	53.0
織物	791,214	19.3	716,985	18.0	933,546	20.8
印 刷 及 出 版	15,916	0.4	8,757	0.2	10,543	0.2
化 学 製 品	112,398	2.7	317,328	7.9	118,608	2.6
窯業及窯業製品	—	—	—	—	160	0.0
製材及木製品	—	—	—	—	—	—
金属及金属製品	25,047	0.6	1,272	0.0	16,897	0.4
機 械 器 具	4,984	0.1	6,202	0.2	4,445	0.1
その他雑製品	64,626	1.6	64,626	1.6	64,626	1.4
合 計	4,099,697	100.0	3,993,649	100.0	4,497,502	100.0

その他雑製品は3年ともに全額「紙製品」である。

単位は円、%。梅村又次『長期経済統計13 地域経済統計』P64 - 123による。

が設定されているにもかかわらず、山梨県の数値がないという点で不十分な部分があり、また「その他雑製品」の項目が三年とも同じ数値を掲げているという点で不自然な点もあるが、この時期の工業統計としてはやむを得ない限界であらう。ともあれこの表では、酒類を含む食料品が二〇％を占めるとはいえ、ほとんど生糸で占められる糸類が五〇％、織物が二〇％であり、生糸・織物の二品目で七〇％を越えている。この時期にすでに繊維産業に特化していることが

表2 工業生産価額 (1890 - 1915年)

	蚕 糸	織 物	酒 類	醬 油	製 紙	綿 糸	油	水晶細工	真 綿	合 計
1890	2,338,634 (52.1)	1,169,572 (26.1)	687,955 (15.3)	149,706 (3.3)	— (—)	141,763 (3.2)	— (—)	— (—)	— (—)	4,487,630 (100.0)
1895	3,856,731 (53.7)	1,672,513 (23.3)	1,077,475 (15.0)	255,133 (3.5)	94,029 (1.3)	147,110 (2.0)	59,120 (0.8)	7,341 (0.1)	18,003 (0.3)	7,187,455 (100.0)
1900	4,458,621 (37.1)	5,062,697 (42.2)	1,720,309 (14.3)	326,831 (2.7)	125,449 (1.0)	178,001 (1.5)	60,397 (0.5)	31,905 (0.3)	39,007 (0.3)	12,003,217 (100.0)
1905	8,360,306 (63.8)	2,505,771 (19.1)	1,163,977 (8.9)	332,538 (2.5)	270,008 (2.1)	316,400 (2.4)	58,547 (0.4)	64,275 (0.5)	34,455 (0.3)	13,106,277 (100.0)
1910	9,449,616 (57.1)	4,424,574 (26.7)	1,536,523 (9.3)	413,040 (2.5)	511,259 (3.1)	54,753 (0.3)	52,680 (0.3)	76,720 (0.5)	31,565 (0.2)	16,550,730 (100.0)
1915	10,168,487 (59.9)	4,282,236 (25.2)	1,242,787 (7.3)	364,234 (2.1)	523,245 (3.1)	94,578 (0.6)	97,500 (0.6)	157,635 (0.9)	31,725 (0.2)	16,962,427 (100.0)

単位は円。()は構成比。1890年の蚕糸生産額は、生産量×全国平均価格(=貫当り 36.88 円。価格は『長期経済統計 10 鉱工業』P188の生糸生産額を、『長期経済統計 11 繊維工業』P294の生糸生産量で除して算出)。1890-1910年の「酒類」「醤油」生産額は推計値(補表1による)。他は県統計書による。

理解されよう。

ところで、この時期(とくに一九〇五年以前)の県統計書は極めて不備であり、工業生産を全体的に把握することはできない。しかも工業統計に生産量が記されているだけで生産額がない部分があり、そのままでは統計的検討が困難である。そこで本稿では、県統計書に生産額が記載されているものはそのままの金額で、生産量はあるが生産額の記載がないものについては『長期経済統計』シリーズの「価格」を使って推計を試みることにしよう。表2は、一八九〇年から一九一五年までの工業生産額を示したものである。この期間のうち、とくに一九〇〇年以前については取り上げられている品目が少ないため統計は不完全なものとならざるをえない。表示されている品目は一八九〇年以降通して記載されている品目である。この中で県統計書に生産額が記載されているのは、蚕糸(ただし一八九〇年の金額はない)・織物・製紙・綿糸・油・水晶細工・真綿の七品目、金額の記載がないものは酒類と醤油の二品目である(他に鋳物・度量衡製作などが記されている年があるが、少額であり一貫性もないのでここでは無視してよいであらう)。この九品目を、かなり統計の形式が整備されている一九一〇・一五年の工業生産額(表3)と比べると、一九一〇

表3 工業生産価額 (1910 - 1925年)

	蚕 糸	織 物	酒 類	醬 油	和 紙	工産物雑類	その他共計
1910	9,449 (54.5)	4,424 (25.5)	1,752 (10.1)	413 (2.4)	511 (2.9)	498 (2.9)	17,323 (100.0)
1915	10,168 (53.3)	4,282 (22.4)	1,567 (8.2)	234 (1.2)	523 (2.7)	1,889 (9.9)	19,079 (100.0)
1920	31,769 (51.5)	17,574 (28.5)	5,377 (8.7)	813 (1.3)	1,051 (1.7)	4,115 (6.7)	61,629 (100.0)
1925	43,250 (56.2)	18,326 (23.8)	6,230 (8.1)	1,372 (1.8)	893 (1.2)	6,352 (8.3)	76,969 (100.0)

単位は千円(千円未満切捨)。()は構成比。1910年の「酒類」は一部推計を含み、同年の「醤油」は推計額である。県統計書による。

表4 工業生産実質価額・対全国比（1890-1915年）

	実 質 価 額			対 全 国 比	
	山梨県生産額 A	価 格 指 数 B	実質価額 A/B	全国生産額 C	対全国比 A/C
1890	4,487	38.0	11,807	443,544	1.01
1895	7,187	43.3	16,598	784,137	0.92
1900	12,003	61.9	19,390	1,196,399	1.00
1905	13,106	72.4	18,102	1,437,319	0.91
1910	16,550	75.0	22,066	2,082,504	0.79
1915	16,962	80.6	21,044	2,888,906	0.59

単位は山梨県＝千円（千円未満切捨）、全国＝千円。山梨県生産額は表2の推計値。価格指数は『長期経済統計8 物価』P192-193の「工業製品合計」（1934-1936年を＝100とする指数）。全国生産額は『長期経済統計10 鉱工業』P141-143（B系列）による。

表5 工業生産実質価額・対全国比（1910-1925年）

	実 質 価 額			対 全 国 比	
	山梨県生産額 A	価 格 指 数 B	実質価額 A/B	全国生産額 C	対全国比 A/C
1910	17,323	75.0	23,097	2,082,504	0.83
1915	19,079	80.6	23,671	2,888,906	0.66
1920	61,629	195.2	31,572	9,579,237	0.64
1925	76,969	147.7	52,111	10,100,434	0.76

単位は山梨県＝千円（千円未満切捨）、全国＝千円。価格指数は『長期経済統計8 物価』P192-193の「工業製品合計」（1934-1936年を＝100とする指数）。全国生産額は『長期経済統計10 鉱工業』P143による。

表6 生糸生産量と生産価額（1883-1920年）

	生産量（貫）	生産価額（円）		生産量（貫）	生産価額（円）		生産量（貫）	生産価額（円）
1883	48,929	—	1896	95,608	2,919,305	1909	212,304	8,511,864
1884	30,658	—	1897	94,989	2,260,151	1910	253,316	9,449,616
1885	37,266	—	1898	98,755	3,250,459	1911	256,448	9,330,316
1886	50,513	—	1899	98,955	3,847,665	1912	276,700	11,131,499
1887	53,885	—	1900	108,026	4,458,621	1913	258,331	11,073,213
1888	65,318	—	1901	102,376	4,393,874	1914	242,172	9,128,210
1889	69,679	—	1902	157,227	5,846,641	1915	249,554	10,168,487
1890	63,412	—	1903	132,996	6,235,455	1916	286,693	15,865,870
1891	83,695	2,077,891	1904	141,909	7,624,761	1917	328,345	20,702,604
1892	84,062	2,584,785	1905	161,561	8,360,306	1918	328,331	24,184,124
1893	93,817	2,720,644	1906	155,434	8,580,261	1919	388,493	44,831,123
1894	90,971	2,989,872	1907	206,382	11,265,589	1920	384,017	31,769,986
1895	103,524	3,856,731	1908	211,273	9,933,743			

県統計書による。

表7 織物生産量と生産価額(1890-1920年)

	生産量(反)	生産量(本)	生産価額(円)		生産量(反)	生産量(本)	生産価額(円)
1890	541,251	2,721	1,169,572	1906	651,004	149	2,719,604
1891	596,798	2,471	990,729	1907	809,549	51	3,951,901
1892	577,356	1,841	1,130,927	1908	991,366	67	4,389,063
1893	617,065	1,585	1,198,378	1909	1,099,864	1,321	4,292,173
1894	599,883	2,010	1,509,769	1910	1,152,848	1,157	4,424,574
1895	598,096	1,830	1,672,513	1911	1,117,219	1,027	4,617,123
1896	811,332	2,523	2,337,138	1912	1,182,154	1,740	5,006,717
1897	700,809	1,689	2,183,255	1913	1,165,975	2,110	4,805,201
1898	533,406	1,409	2,399,602	1914	929,220	1,739	3,772,913
1899	734,376	425	2,804,419	1915	859,186	2,700	4,282,236
1900	755,921	1,189	5,062,697	1916	854,133	4,042	3,982,541
1901	769,368	1,104	2,516,893	1917	857,220	7,510	5,259,962
1902	522,447	494	1,777,665	1918	1,386,958	13,054	11,790,873
1903	775,408	800	2,601,000	1919	1,989,026	23,240	21,556,370
1904	671,746	151	2,291,379	1920	1,218,205	108,171	17,574,876
1905	676,234	140	2,505,771				

県統計書による。

年で九五・五%、一五年で八八・九%であり。工業生産のかなりの部分がカヴァーされていることがわかる。

表2・表3の二つの表から、構成比ではおよそ蚕糸五〇〜六〇%、織物二五%前後、酒類一〇%前後(ただし酒類は年とともに比率を落としてい

る)という工業生産の姿が浮かび上がってくる(もちろん年により差があることは断るまでもない)

工業生産を実質価額でみると(一九三四―三六年価格、表4・表5)、一八九〇年から一九〇〇年の間に工業生産額が一・六倍に急増したあと一九一五年まで生産の伸びがあまりみられなくなっている(一九一五年以降に急拡大を見せる)。対全国比では、全国的な工業生産の拡大テンポが早いため、一九〇〇年以降、山梨県の占める比率は一九二〇年まで縮小傾向にある。

この間の工業生産の状況を中心的な工業である蚕糸と織物についてみよう(表6・表7)。まず蚕糸は、「本県の蚕糸業は明治二四、五年ごろから質的にも量的にも大きく発展し、全国屈指の養蚕県にのし上がった^④、といわれる如く、一八八四年以降一八九五年まで急速に生産の拡大を示す。しかしその後一九〇一年までの停滞と一九〇〇年代前半までの漸増傾向をみせる。この時期について『県政百年史』は、「明治三〇年から三一年にかけての恐慌……により山梨県蚕糸業は全体として沈滞状況へ入っていく^⑤」^⑥「明治末年に至り、山梨県蚕糸業の位置が全国的水準からみると、長野県の諏訪地方のように圧倒的な位置を占めなくなるとともに山梨県経済そのものの相対的沈下傾向があらわれる^⑦」と記している。一九一〇年代後半には、第一次大戦の影響で生産は飛躍的に拡大する。織物は、一八九〇年以後一九一〇年まで漸増、以後停滞する。

蚕糸業の生産動向は、実質生産額の変動を基本的に規定する。実質生産額の一九〇〇年までの増加とその後の停滞、そして一九二〇年代の飛躍は蚕糸業の動向と基本的に一致すると考えてよいであろう。

二 農業生産

一九〇四年以前の時期は、農産物についても統計が不備であるので、ここでは統計が整備されてくる一九〇五年と〇六年について農産物価額の構成をみることはじめよう(表8)。主要生産物は、米三〇%強、麦二〇%弱、まゆ三〇%強で、三者で八〇%を越える生産額を示している。

表8 農産物価額構成 (1905-1906年)

		1905 年		1906 年				1905 年		1906 年	
		金額 (円)	比 率	金額 (円)	比 率			金額 (円)	比 率	金額 (円)	比 率
米		4,459,074	33.30	4,671,928	30.71	食用農産物	百 合	692	0.01	1,020	0.01
麦	大 麦	1,741,132	13.00	1,666,792	10.96		わ さ び	7,421	0.06	6,949	0.05
	小 麦	826,371	6.17	884,745	5.82		とうがらし	43	0.00	41	0.0
	はだか麦	14,416	0.11	25,102	0.17		食用農産物計	1,876,450	14.01	1,820,765	11.97
麦 類 計		2,581,919	19.28	2,576,639	16.94	特 用 農 産 物	実 綿	60,000	0.45	24,537	0.16
ま ゆ		4,054,286	30.28	5,767,929	37.91		葉 藍	282	0.00	516	0.00
食	大 豆	320,304	2.39	282,903	1.86		葉 煙 草	72,738	0.54	64,028	0.42
	小 豆	85,876	0.64	84,316	0.55		菜 種	7,088	0.05	6,574	0.04
	あ わ	174,020	1.30	167,907	1.10		大 麻	853	0.01	136	0.00
	ひ え	47,258	0.35	60,045	0.39		苧 麻	3,553	0.03	22	0.00
	き び	13,164	0.10	11,973	0.08		荏	2,310	0.02	923	0.01
	そ ば	123,948	0.93	95,053	0.62		楮	9,771	0.07	4,949	0.03
	とうもろこし	209,636	1.57	152,069	1.00		みつまた	86,536	0.65	107,332	0.71
	甘 藷	138,576	1.03	169,844	1.12		特用農産物計	243,131	1.82	209,017	1.37
用	馬 鈴 薯	47,378	0.35	55,415	0.36	果	梅	11,389	0.09	8,454	0.06
	えんどう	37,802	0.28	41,577	0.27		桃	8,098	0.06	10,402	0.07
	そらまめ	22,780	0.17	25,875	0.17		梨	11,761	0.09	14,901	0.10
	落 花 生	4,840	0.04	6,757	0.04		柿	55,454	0.41	61,991	0.41
	だいこん	170,492	1.27	164,675	1.08		葡 萄	32,953	0.25	39,665	0.26
	にんじん	53,445	0.40	54,751	0.36		ゆ ず	639	0.00	857	0.01
	ご ぼ う	41,820	0.31	54,749	0.36		栗	39,595	0.30	14,842	0.10
	さといも	104,294	0.78	109,445	0.72		枇 杷	197	0.00	216	0.00
産	な す	76,675	0.57	62,834	0.41	実	銀 杏	335	0.00	182	0.00
	かぼちゃ	25,670	0.19	21,576	0.14		榧	1,816	0.01	1,017	0.01
	菜	66,545	0.50	79,660	0.52		杏	239	0.00	198	0.00
	瓜 類	35,260	0.26	38,327	0.25		牡 丹 杏	1,379	0.01	1,092	0.01
	ね ぎ	36,446	0.27	49,989	0.33		李	1,506	0.01	1,385	0.01
	たまねぎ	108	0.00	189	0.00		り ん ご	1,684	0.01	572	0.00
	しょうが	15,904	0.12	9,057	0.06		ざ く ろ	1,934	0.01	2,095	0.01
	蒟 蒻 芋	2,924	0.02	2,434	0.02		な つ め	2,040	0.02	2,099	0.01
物	蓮 根	12,357	0.09	10,290	0.07	果 実 計		171,019	1.28	159,968	1.05
	筍	772	0.01	1,045	0.01	茶		5,292	0.04	7,071	0.05
						合 計		13,391,171	100.00	15,213,317	100.00

県統計書による。

表9 山梨県農産物の価格水準 (1903-1907年)

	米 (価格は石当り・円)			甘藷 (価格は千貫当り・円)			葉煙草 (価格は百貫当り・円)			まゆ (価格は百貫当り・円)		
	県統計 a	長期統計 b	差異 a/b	県統計 a	長期統計 b	差異 a/b	県統計 a	長期統計 b	差異 a/b	県統計 a	長期統計 b	差異 a/b
1903	14.09	13.70	102.8	73.98	39.23	188.6	80.00	77.63	103.1	424.39	384.62	110.3
1904	13.99	12.56	111.4	94.28	42.13	223.8	95.00	79.66	119.3	379.50	333.33	113.9
1905	15.48	12.21	126.8	60.79	45.03	135.0	72.28	81.69	88.5	396.57	367.52	107.9
1906	15.40	13.98	110.2	65.14	47.92	135.9	73.00	83.72	87.2	451.13	410.26	110.0
1907	16.55	15.66	105.7	71.83	50.82	141.3	75.80	85.75	88.4	506.16	487.18	103.9

県統計は生産価額を生産量で除して算出 (四捨五入)。長期統計は『長期経済統計 8 物価』 P 168 - 182 による。差異 = a/b は a/b × 100 の意味である。

表10 農産物価額の推移 (推計値・1883-1805年)

	米（価格は石当り）			大麦（価格は石当り）			小麦（価格は石当り）			はだか麦（価格は石当り）					
	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）			
1883	272,846	5.63	1,536,122	172,510	1.38	238,063	61,059	4.00	244,236	1,579	2.69	4,247			
1885	257,051	5.88	1,511,459	152,371	2.41	367,214	61,455	3.39	208,332	3,003	2.90	8,708			
1890	312,745	8.05	2,517,597	227,469	3.15	716,527	82,591	4.78	394,784	1,946	3.97	7,725			
1895	342,654	8.21	2,813,189	245,884	2.55	627,004	80,156	4.43	355,091	2,315	3.49	8,079			
1900	324,565	11.43	3,709,777	263,728	4.37	1,152,491	124,528	6.34	789,507	1,881	5.19	9,762			
1905	287,977	12.21	3,516,199	258,026	5.58	1,439,785	90,165	8.68	782,632	1,881	7.13	13,411			
	まゆ（価格は百貫当り）			大豆（価格は石当り）			小豆（価格は石当り）			あわ（価格は石当り）					
	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）			
1883	352,520	244.53	861,356	22,407	4.72	105,761	3,513	5.55	19,497	28,903	2.33	67,343			
1885	423,610	213.75	905,466	22,078	4.77	105,312	4,051	5.51	22,321	27,818	2.32	64,537			
1890	506,330	253.55	1,283,799	31,357	4.97	155,844	6,295	6.84	43,057	30,886	2.68	82,774			
1895	976,110	293.43	2,864,199	32,210	5.46	175,866	7,372	6.34	46,738	39,491	3.65	144,142			
1900	1,040,360	348.60	3,626,694	38,555	6.94	267,571	6,071	8.73	52,999	33,780	4.92	166,197			
1905	1,022,340	367.52	3,757,303	33,195	9.17	304,398	7,342	10.06	73,860	22,053	6.92	152,606			
	ひえ（価格は石当り）			きび（価格は石当り）			そば（価格は石当り）			もろこし・とうもろこし（価格は石当り）					
	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）			
1883	24,725	1.22	30,164	1,897	2.71	5,140	11,911	2.47	29,420	8,536	2.16	18,437			
1885	24,221	1.26	30,518	2,328	2.61	6,076	11,279	2.40	27,069	2,596	2.13	5,529			
1890	29,339	1.57	46,062	2,384	2.74	6,532	14,628	2.51	36,716	20,157	2.46	49,586			
1895	23,399	2.19	51,243	2,226	3.44	7,657	17,987	2.89	51,982	29,194	3.42	99,843			
1900	23,825	2.12	50,509	1,685	4.61	7,767	9,823	4.73	46,462	19,242	4.37	84,087			
1905	15,396	3.17	48,805	1,834	4.92	9,023	16,525	5.86	96,836	28,773	4.92	141,563			
	甘藷（価格は千貫当り）			馬鈴薯（価格は千貫当り）			実綿（価格は百貫当り）			葉藍（価格は百貫当り）					
	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）			
1883	872,227	28.52	24,875	1,448,227	50.89	73,700	577,327	46.80	270,189	76,966	21.24	16,347			
1885	1,007,295	25.17	25,353	700,432	43.62	30,552	384,118	43.17	165,823	119,969	20.40	24,473			
1890	1,418,468	21.87	31,021	1,085,081	33.87	36,751	390,991	44.43	173,717	43,118	28.80	12,417			
1895	1,212,702	26.20	31,772	1,134,807	36.76	41,715	236,768	43.50	102,994	22,357	29.88	6,680			
1900	1,021,099	27.26	27,835	687,157	30.98	21,288	135,417	41.08	55,629	9,283	36.53	3,391			
1905	2,279,452	45.03	102,643	512,807	43.77	22,445	89,556	60.45	54,136	611	31.20	190			
	葉煙草（価格は百貫当り）			菜種 価格は石当り）			大麻（価格は百貫当り）			ぶどう（価格は百貫当り）					
	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（石）	価格（円）	生産額（円）	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）			
1883	75,944	56.08	42,589	2,836	6.05	17,157	5,402	60.03	3,242	—	20.57	—			
1885	73,398	47.01	34,504	1,678	4.82	8,087	3,689	58.50	2,158	—	19.15	—			
1890	93,498	39.74	37,156	1,777	6.05	10,750	18,674	63.95	11,942	44,297	20.03	8,872			
1895	137,578	55.64	76,548	1,960	6.50	12,740	2,700	76.88	2,075	61,038	27.57	16,828			
1900	97,311	75.87	73,829	2,671	8.93	23,852	2,957	97.51	2,883	41,396	35.11	14,534			
1905	100,355	81.69	81,979	685	10.15	6,952	504	122.33	616	286,265	34.09	97,587			
	茶（価格は百貫当り）			合 計			生産量は県統計書、価格は『長期経済統計 8 物価』P168－183による。生産額の円未満は切り捨て、もろこし・とうもろこしは合算してとうもろこし価格で算出（長期経済統計にとうもろこし価格が欠けているため）								
	生産量（貫）	価格（円）	生産額（円）												
1883	4,633	118.59	4,633												
1885	15,913	96.16	15,913												
1890	6,364	80.64	5,188												
1895	5,933	101.21	6,004												
1900	4,713	120.99	5,702												
1905	3,856	144.70	5,579												

表11 農産物価額の構成(1883-1905年)

	米	大麦	小麦	はだか麦	まゆ	大豆	小豆	あわ	ひえ	きび	そば
1883	42.52	6.59	6.76	0.12	23.84	2.93	0.54	1.86	0.83	0.14	0.81
1885	42.34	10.29	5.84	0.24	25.37	2.95	0.63	1.81	0.85	0.17	0.76
1890	44.41	12.64	6.96	0.14	22.65	2.75	0.76	1.46	0.81	0.12	0.65
1895	37.30	8.31	4.71	0.11	37.97	2.33	0.62	1.91	0.68	0.10	0.69
1900	36.40	11.31	7.75	0.10	35.58	2.63	0.52	1.63	0.50	0.08	0.46
1905	32.84	13.45	7.31	0.13	35.09	2.84	0.69	1.43	0.46	0.08	0.90
	もろこし他	甘 藷	馬鈴薯	実 綿	葉 藍	葉煙草	菜 種	大 麻	ぶどう	茶	合計
1883	0.51	0.69	2.04	7.48	0.45	1.18	0.47	0.09	—	0.13	100.0
1885	0.15	0.71	0.86	4.65	0.69	0.97	0.23	0.06	—	0.45	100.0
1890	0.87	0.55	0.65	3.06	0.22	0.66	0.19	0.21	0.16	0.09	100.0
1895	1.32	0.42	0.55	1.37	0.09	1.01	0.17	0.03	0.22	0.08	100.0
1900	0.82	0.27	0.21	0.55	0.03	0.72	0.23	0.03	0.14	0.06	100.0
1905	1.32	0.96	0.21	0.51	0.00	0.77	0.06	0.01	0.91	0.05	100.0

単位は%。表10より作成。数値は四捨五入。

1%を越えるものに、大豆・あわ・とうもろこし・甘藷・だいこんがあるが、主要農産物三者に比べて格段に生産額が小さい。

統計が不備な部分は、生産額を推計しよう。推計は生産量と『長期経済統計』の価格で行なうこととする。最初に、代表的な農産物について、県統計書から算出される価格と『長期経済統計』の価格水準とを比較しよう(表9)。山梨県の「甘藷」の価格水準が『長期経済統計』に比べてかなり高くなっている(時期が下るほど差は縮小している。「甘藷」の価格差は腐敗しやすいことと、かさばるという輸送上の問題であろう)以外、差は一割前後にとどまるものであり(山梨県の価格がやや高めになっている)、生産額の推計に大きな支障はないと考えてよい(一九〇三年に中央線が甲府まで開通しており、その前後で価格差に変化があるとも考えられるが、〇三年以前の山梨県の価格がえられないので、価格差に大きな変化がないものとして推計をすすめるをえない)。

生産額の推計は表9の農業生産品目のうち、一八八三年の県統計書から一貫して記載されている品目について行なうこととした(ただし山梨県の特産物であるぶどうは県統計書に記載されはじめる九〇年から加えてある)。一八八三—一九〇五年の推計結果は表10のとおりである。一九〇五年の生産額合計は、表8の合計金額の八〇・〇%である。ややカヴァー率が低い感があるが、これは前述のごとく、山梨県の価格水準が『長期経済統計』の価格水準に較べてやや高めであることによるものである。したがって、表10の生産額推計はこの表に取り上げられてない品目を含めた全生産額の八割—九割程度であると考えてよいであろう。表9の生産額の構成比を示したのが表11である。一八八三年から一九〇五年まで間に米の生産額が一〇ポイント減少し、代わってまゆの構成比が一〇ポイント以上増加しているのが大きな変化である(なお七・四八%を占めていた実綿が急減している。この時期の繊維産業の交替を示す大きな変化である)。

統計が整備されてくる一九〇五年以降の農産物生産額の変化を示したのが表12である。米の生産額は三〇%台の前半で、二〇%台に落ちる年もみられる。二〇%近い生産額を示していた麦も七—八ポイント減らしている。代わって構成比を高めたのはまゆである。まゆは価格変動が激しく、生産

表12 農産物生産額(1905-1920年)

	米	麦	食用農産物	特用農産物	果実	茶	まゆ	合計
1905	4,459 (33.4)	2,581 (19.3)	1,841 (13.8)	242 (1.8)	168 (1.3)	5 (0.0)	4,054 (30.4)	13,356 (100.0)
1906	4,671 (30.8)	2,576 (17.0)	1,782 (11.7)	209 (1.4)	157 (1.0)	7 (0.1)	5,767 (38.0)	15,171 (100.0)
1907	4,980 (29.2)	2,553 (15.0)	2,121 (12.4)	229 (1.3)	227 (1.3)	7 (0.1)	6,954 (40.7)	17,074 (100.0)
1908	3,863 (28.2)	2,486 (18.2)	2,106 (15.4)	241 (1.8)	276 (2.0)	7 (0.1)	4,699 (34.3)	13,682 (100.0)
1909	4,348 (28.9)	2,411 (16.0)	2,516 (16.7)	190 (1.3)	297 (2.0)	10 (0.1)	5,265 (35.0)	15,041 (100.0)
1910	3,789 (26.0)	2,556 (17.5)	2,594 (17.8)	262 (1.8)	352 (2.4)	10 (0.1)	5,026 (34.4)	14,592 (100.0)
1911	5,520 (32.1)	2,630 (15.3)	2,604 (15.1)	275 (1.6)	319 (1.9)	14 (0.1)	5,848 (34.0)	17,214 (100.0)
1912	7,820 (37.5)	3,585 (17.2)	2,517 (12.1)	173 (0.8)	486 (2.3)	14 (0.1)	6,238 (29.9)	20,836 (100.0)
1913	6,859 (32.8)	3,351 (16.0)	2,707 (13.0)	189 (0.9)	547 (2.6)	12 (0.1)	7,212 (34.5)	20,881 (100.0)
1914	5,104 (29.4)	2,565 (14.8)	2,299 (13.3)	181 (1.0)	583 (3.4)	16 (0.1)	6,595 (38.0)	17,346 (100.0)
1915	5,206 (32.8)	2,321 (14.6)	1,403 (8.8)		756 (4.8)	16 (0.1)	6,159 (38.8)	15,865 (100.0)
1916	6,665 (31.1)	2,138 (10.0)	1,440 (6.7)		484 (2.3)	18 (0.1)	10,682 (49.8)	21,429 (100.0)
1917	8,407 (26.9)	3,472 (11.1)	3,428 (11.0)		574 (1.8)	20 (0.1)	15,371 (49.1)	31,275 (100.0)
1918	16,499 (35.5)	5,866 (12.6)	3,093 (6.7)		930 (2.0)	29 (0.1)	20,053 (43.2)	46,472 (100.0)
1919	21,283 (34.3)	7,483 (12.0)	4,422 (7.1)		1,359 (2.2)	43 (0.1)	27,533 (44.3)	62,125 (100.0)
1920	11,095 (31.5)	4,940 (14.0)	4,708 (13.4)		1,504 (4.3)	63 (0.2)	12,916 (36.7)	35,229 (100.0)
1925	15,488 (26.6)	4,746 (8.1)	5,086 (8.7)		1,799 (3.1)	31 (0.1)	31,154 (53.4)	58,305 (100.0)

単位は千円(千円未満切捨)。()は構成比。県統計書による。

表13 農業生産実質価額・対全国比(1883-1905年)

	実 質 価 額			対 全 国 比	
	山梨県生産額 A	価格指数 B	実質価額 A/B	全国生産額 C	対全国比 A/C
1883	3,612	29.1	12,412	372	0.97
1885	3,569	28.0	12,746	402	0.88
1890	5,668	34.4	16,476	590	0.96
1895	7,542	37.9	19,899	656	1.15
1900	10,192	49.8	20,465	944	1.08
1905	10,708	56.9	18,818	1,048	1.02

単位は山梨県=千円(千円未満切捨)、全国=百万円(百万円未満切捨)。山梨県生産額は表10の推計値。価格指数は『長期経済統計9 農林業』P160-161の「農産物総合指数」(1934-1936年を=100とする指数)、全国生産額は『長期経済統計9 農林業』P146-147による。

額の増減も大きい。しかし一九一〇年代後半には農産物価額の五〇%近くまで構成比を高める年があり、農業生産の中で圧倒的な位置を占めるようになっていく。

農業生産を実質価額(一九三四-三六年価格)でみると、表13・表14のとおりである(表13は推計値、表14は県統計書の実額であり、二つの表は連続しない)。二つの表から一九八五年-九五五年の農業生産額の急増、一八九五-一九一〇年代始めまでの停滞、一〇年代後半の拡大という大きな

な流れをとらえることができる(農業生産額の対全国比は農業生産の急増・停滞・再拡大と基本的に連動する)。生産額変動を規定したのは表15にみるまゆの生産動向である。この表は一八八三年-九五五年の生産量の急増(二三年間に二・八倍)、一八九五-一九一〇年代始めまでの停滞・漸増を示している。そして一九一〇年代後半には「欧州大戦による米国の好況は、生糸の消費増大を促進したので、大正四年後半期からわが国輸出生糸も急増加し、その価格も著しく高騰した。この結果は当然農家の養蚕意欲を

表 14 農業生産実質価額・対全国比（1905 - 1920 年）

	実 質 価 額			対 全 国 比	
	山梨県生産額 A	価格指数 B	実質価額 A/B	全国生産額 C	対全国比 A/C
1905	13,356	56.9	23,472	1,048	1.27
1906	15,171	60.6	25,034	1,257	1.21
1907	17,074	67.2	25,407	1,494	1.14
1908	13,682	62.7	21,821	1,462	0.94
1909	15,041	56.9	26,434	1,314	1.14
1910	14,592	57.4	25,421	1,278	1.14
1911	17,214	68.5	25,129	1,700	1.01
1912	20,836	78.2	26,644	1,964	1.06
1913	20,881	78.4	26,633	1,986	1.05
1914	17,346	59.5	29,152	1,549	1.12
1915	15,865	55.8	28,431	1,462	1.09
1916	21,429	64.0	33,482	1,792	1.20
1917	31,275	88.8	35,219	2,465	1.27
1918	46,472	133.0	34,941	3,705	1.25
1919	62,125	182.0	34,134	5,515	1.13
1920	35,229	145.6	24,195	4,329	0.81
1925	58,305	148.8	39,183	4,544	1.28

単位は山梨県＝千円（千円未満切捨）、全国＝百万円（百万円未満切捨）。
 価格指数は『長期経済統計 9 農林業』P160-161 の「農産物総合指数」
 (1934-1936 年を=100 とする指数)、全国生産額は『長期経済統計 9 農
 林業』P146-147 による。

表 15 まゆ生産量・価額（1883 - 1920 年）

	生産量(貫)	生産価額(円)		生産量(貫)	生産価額(円)		生産量(貫)	生産価額(円)
1883	352,520	—	1896	820,420	2,126,021	1909	1,421,510	5,265,329
1884	371,740	—	1897	845,710	2,489,107	1910	1,526,810	5,026,026
1885	423,610	—	1898	834,550	2,497,049	1911	1,657,850	5,848,692
1886	502,060	—	1899	871,060	3,388,157	1912	1,763,840	6,238,717
1887	551,870	—	1900	1,040,360	4,143,105	1913	1,817,380	7,212,961
1888	582,830	—	1901	951,420	3,738,683	1914	1,748,660	6,595,634
1889	511,640	—	1902	897,120	3,839,484	1915	1,874,650	6,159,467
1890	506,330	—	1903	1,023,760	4,344,704	1916	2,335,900	10,682,814
1891	608,148	1,353,243	1904	1,029,790	3,908,041	1917	2,509,750	15,351,559
1892	651,880	1,649,148	1905	1,022,340	4,054,286	1918	2,668,500	20,053,280
1893	710,320	1,824,718	1906	1,278,560	5,767,929	1919	2,747,070	27,533,779
1894	862,900	2,090,687	1907	1,373,930	6,954,234	1920	2,287,000	12,916,491
1895	976,110	2,535,462	1908	1,302,070	4,699,551	1925	3,267,653	31,154,726

まゆ生産量のうち石単位で示されている年は、1 石＝10 貫で換算（県統計書の換算方法による）。

三 生産物価額構成・実質価額

異常にかりたて、桑園面積の増加と産額額の著増となって現われた^①といわれるごとく、生産の飛躍的拡大をみせている。

表 16・表 17 は生産物価額構成の変化を示すものである。表 16 は推計に基づく数値で、表 17 の数値は県統計書の実額に基づく数値である。農産物は一八九〇年の五五%余から一九〇五年の四四%弱を経て二〇年には三一%余まで構成比を落とすのに対して、工産物は一八九〇年の四四%余から

一〇ポイントアップして、一九〇五年以後五〇%を超えるようになる。この間の蚕糸業の発展によるものである。

この間の実質価額の推移をみると（表 18）、一八九〇年から一九〇〇年までの一〇年間で一・五倍と急拡大の後、停滞期を挟んで一九一〇年代から二〇年代にかけて再び拡大を示している（一九〇五年の数値と二〇年

表16 生産物価額構成(1890-1905年)

	農産物	畜産物	林産物	水産物	工産物	合 計
1890	5,668,817 (55.7)	21,617 (0.2)	— (—)	— (—)	4,487,630 (44.1)	10,178,064 (100.0)
1895	7,542,389 (50.9)	43,669 (0.3)	— (—)	41,566 (0.3)	7,187,455 (48.5)	14,815,079 (100.0)
1900	10,192,766 (45.2)	145,303 (0.6)	195,365 (0.9)	11,875 (0.1)	12,003,217 (53.2)	22,548,526 (100.0)
1905	10,708,548 (43.9)	246,086 (1.0)	339,433 (1.4)	15,132 (0.1)	13,106,277 (53.7)	24,415,476 (100.0)

単位は円(円未満切り捨て)。()は構成比(四捨五入)。農産物価額は表10の推計額。1890-1900年の畜産物は屠殺の牛・馬金額と牛乳の推計額(『長期経済統計8 物価』P181の品目別価格に生産量を乗じて求めた)の和である。工産物は表2の推計額。県統計書による。

表17 生産物価額構成(1910-1930年)

	農産物	畜産物	林産物	水産物	工産物	鉱産物	合 計
1910	14,592 (42.9)	338 (1.0)	1,704 (5.0)	21 (0.1)	17,323 (51.0)	— (—)	33,978 (100.0)
1915	15,865 (42.3)	491 (1.3)	1,698 (4.5)	68 (0.2)	19,079 (50.9)	305 (0.8)	37,506 (100.0)
1920	35,229 (31.3)	1,209 (1.1)	14,635 (13.0)	103 (0.1)	60,918 (54.1)	417 (0.4)	112,511 (100.0)
1925	58,305 (39.4)	2,024 (1.4)	10,045 (6.8)	123 (0.1)	77,011 (52.0)	596 (0.4)	148,104 (100.0)

()は構成比(四捨五入のため不適合のばあいがある)。単位は千円(千円未満切り捨てのため「合計」は各欄の和と一致しない)。県統計書の農産物価額には「生産物総価額」系列と「農産物価額」系列の二数値があり、前者の数値がかなり大きい(繭とともに桑が加算されているためだと思われる)。ここでは実態に近いと考えられる「農産物価額」系列の数値を採った。県統計書による。

表19 蚕糸・織物・まゆの生産物総価額に占める位置(1890-1925年)

	蚕 糸	織 物	ま ゆ	蚕糸+まゆ
1890	23.0	11.5	12.6	35.6
1895	26.0	11.3	19.3	45.3
1900	19.7	22.5	16.1	35.8
1905	34.3	10.3	15.4	49.7
1910	27.8	13.0	14.8	42.6
1915	27.1	11.4	16.4	43.5
1920	27.9	15.4	11.4	39.3
1925	29.2	12.4	21.0	50.2

単位=%。表2・3・11・12・16・17から算出。蚕糸=工産物の生産比率×蚕糸の生産比率、織物=工産物の生産比率×織物の生産比率、まゆ=農産物の生産比率×まゆの生産比率

表18 生産物総価額・実質価額(1890-1925年)

	総価額 A	価格指数 B	実質価額 A/B
1890	10,178	33.6	30,291
1895	14,815	35.1	42,207
1900	22,548	49.1	45,922
1905	24,415	55.1	44,310
1910	33,978	57.6	58,989
1915	37,506	58.7	63,894
1920	112,511	147.4	76,330
1925	148,104	131.3	112,798

単位は千円(千円未満切り捨て)。価格指数は『長期経済統計9 物価』P134の「総合支出指数」(1934-1936年=100とする指数)。1905以前と以後の数値算出法は異なる。

むすび

一八九〇年―一九二〇年の山梨県の経済は多少の停滞期を含みつつも、三〇年間に実質で二・五倍の生産物総価額を示し、全体としてかなりのペー

の数値は連続しないので直接的な比較は不可能)。

表 20 商業戸数 (1883-1903 年)

	卸 売	仲 買	小売・雑商	合 計
1883	1,418	3,127	10,271	14,816
1885	2,206	3,158	12,406	17,770
1890	3,901	503	14,449	18,853
1895	4,126	524	16,306	20,956
1900	3,703	1,280	18,306	23,289
1903	3,152	1,642	18,006	22,800

1890 年に卸売・仲買の区分が変更されている。34 年以降統計の形式が変わるため、以後継続する数値はない。県統計書による。

指摘してよいであろう。一九二〇年代になると山梨県の経済は、農業構造をも含めて、製糸業を中心とする産業構造に決定的に転換してくることがわかる。

この間の製糸業を軸とする経済発展は商業活動の活発化を呼び起こし、商業戸数は一八八三年から一九〇三年までの二〇年間に一・五倍に増えている(表 20)。この間の山梨県の消費生活の向上を間接的に示すと考えてよいであろう。

- (1) 本稿の前提として「一九二〇—三〇年代の山梨県経済」(『山梨県史研究』第 5 号、一九九七年)を参照。
- (2) 県統計書の生産額と、『長期経済統計』を利用した推計値を併用するのは、県統計書の数値が実態に近いということ以外に、「織物」の種類が多く、推計が困難であるという事情もある。
- (3) 酒類と醤油の推計は補表 1 のとおりである。

スで生産を拡大している。

工業生産の軸である蚕糸・織物と農業生産の変化を導いた「まゆ」について生産物総価額に占める位置をみたのが表 19 である。三者ともに生産価額の変動が激しく、生産の傾向を掴むのは困難である。しかし生産拡大を主導した蚕糸と、蚕糸の生産拡大にともなう生産を増加させた「まゆ」をみると、両者合わせて、一八九〇年代の三〇％台半ばから、一九一〇年代の四〇％台を経て、二五年には五〇％にまで達する、ということは

補表 1 酒・醤油生産価額の推計 (1890-1915 年)

	清 酒			焼 酎		
	生産量(石)	価格(円)	生産額(円)	生産量(石)	価格(円)	生産額(円)
1890	47,194	14.38	678,649	701	10.79	7,563
1895	61,723	17.23	1,063,487	925	12.91	11,941
1900	52,129	32.42	1,690,022	1,011	24.31	24,577
1905	30,356	37.58	1,140,778	702	28.19	19,789
1910	40,025	37.61	1,505,340	949	28.21	26,771
1915	33,361	36.40	1,214,340	926	27.30	25,279

	その他酒類			酒類生産額 合 計 (円)	醬 油		
	生産量(石)	価格(円)	生産額(円)		生産量(石)	価格(円)	生産額(円)
1890	128	13.62	1,699	687,955	7,921	18.90	149,706
1895	112	18.28	2,047	1,077,475	9,373	27.22	255,133
1900	191	29.90	5,710	1,720,309	9,191	35.56	326,831
1905	101	33.77	3,410	1,163,977	8,089	41.11	332,538
1910	116	38.04	4,412	1,536,523	10,326	40.00	413,040
1915	83	38.17	3,168	1,242,787	9,786	37.22	364,234

生産量は石未満切り捨て。価格は石当り価格(四捨五入)。生産額は円未満切り捨て。価格は、『長期経済統計 10 鉱工業』の生産額系列(P174-177)を生産量系列(P158-161)で除して求めた全国平均価格である(醤油は 1.8 トン = 1 石で換算)。

〔参考文献〕

- (4) 『山梨県蚕糸業概史』七九頁
 - (5) (6) 『山梨県政百年史 上』四二九頁及び三八二頁
 - (7) 『山梨県蚕糸業概史』一一七頁
- 小宮山貫六編『山梨県蚕糸業概史』(一九五九年)
山梨県『山梨県政百年史 上』(一九七三年)

(一九九七年十二月九日受理)

